





BP350ST

MSステレオマイクロホン



取扱説明書

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

 警告	<ul style="list-style-type: none">• 強い衝撃を与えないでください。• 分解、改造、修理を行わないでください。• 濡れた手で触れないでください。感電やけがの原因になります。
 注意	<ul style="list-style-type: none">• 直射日光の当たる場所、暖房装置の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。

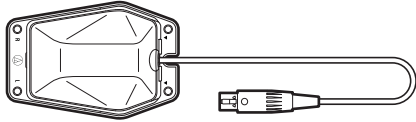
使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- ケーブルは必ずプラグを持って抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると事故や断線の原因になります。
- ケーブルを使用する際は、ケーブルの損傷を防ぐため、ねじれないように注意してください。
- プラグの根元部分ではケーブルを巻かないでください。断線する恐れがあります。
- ケーブルをマイクロホン本体と接続する機器に差し込むときは、接続先の形状を確認のうえ、真っすぐに差し込んでください。コネクタやプラグを斜めに差し込もうとすると故障の原因になります。
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録りを行い、正常に録音されていることをご確認ください。
- 本製品を接続した機器にインストールされたソフトおよびデータなどは、補償いたしかねますのでご了承ください。

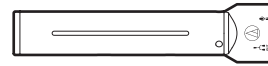
同梱品の確認

BP350ST-UB

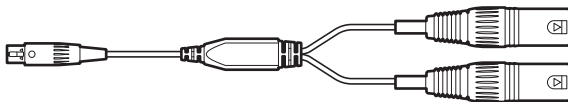
1



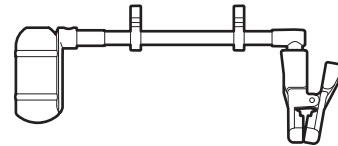
2



3



4



5



6



1 マイクホン

バウンダリーハウジング (AT8494) が工場出荷時には取り付けられています。

2 パワーモジュール (AT8547)

3 0.36mマイクホンケーブル

4 グースネック (スタンダード) (AT8490)

ユニバーサルマウント (AT8491UC) が工場出荷時には取り付けられています。

5 ハードケース

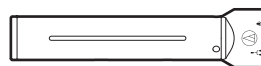
6 取扱注意ガイド

BP350ST-UL

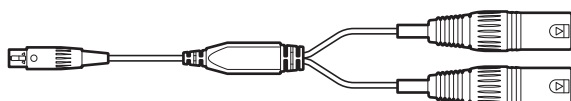
1



2



3



4



5



6



1 マイクホン

ウインドスクリーン (AT8180) とマイクホルダー (AT8495) が工場出荷時には取り付けられています。

2 パワーモジュール (AT8547)

3 0.36mマイクホンケーブル

4 Oリング (2個)

5 ハードケース

6 取扱注意ガイド

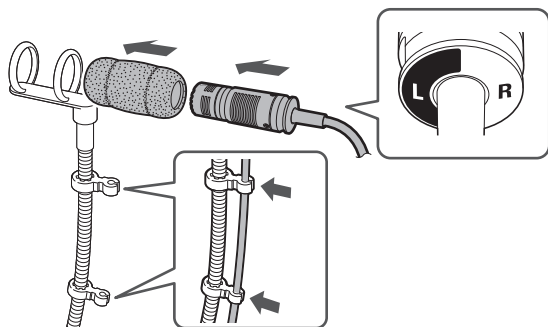
組み立てかた

BP350ST-UB

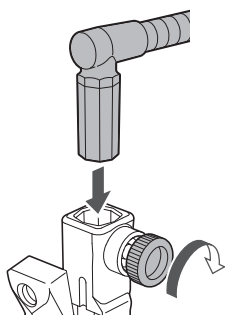
グースネックに取り付ける

1 ウィンドスクリーンをマイクロホンに取り付けたあと、マイクロホンをグースネックに取り付けます。

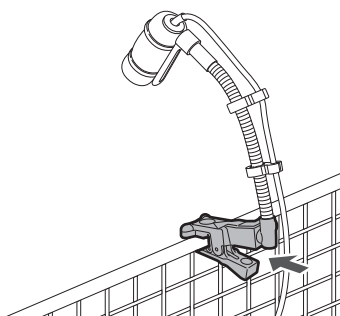
- マイクロホンのLR表示を確認し、実際の向きに合わせて装着してください。



2 グースネックをユニバーサルマウントの穴の底面に当たるまで差し込み、マウントのねじを手でしっかり締めて固定します。



3 ユニバーサルマウント使用して、最適な位置にしっかりと取り付けてください。



- グースネックは90°ごとの角度で固定できます。

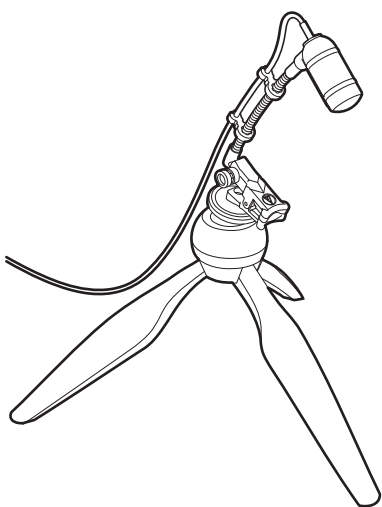
組み立てかた



- 異物がかみ込んだままねじを無理に締め込んだり、工具などを使ってねじを締め込まないでください。ねじ切れなど、ねじの破損の原因になります。

三脚などに取り付ける場合

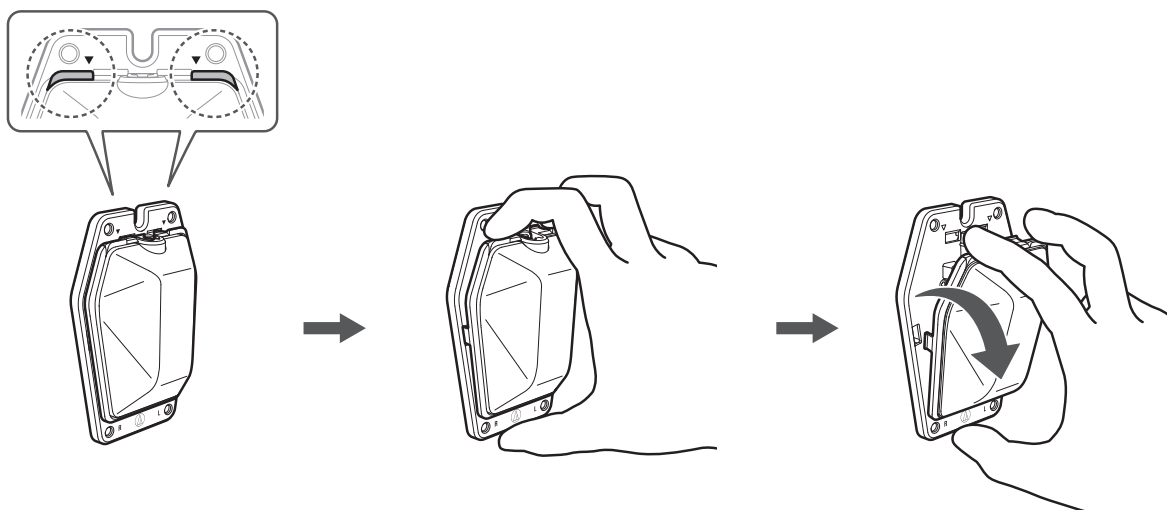
ユニバーサルマウントの1/4インチねじを使用して、三脚など市販のアクセサリーに取り付けることができます。



バウンダリーハウジングに取り付ける

1 バウンダリーハウジングからカバーを取り外します。

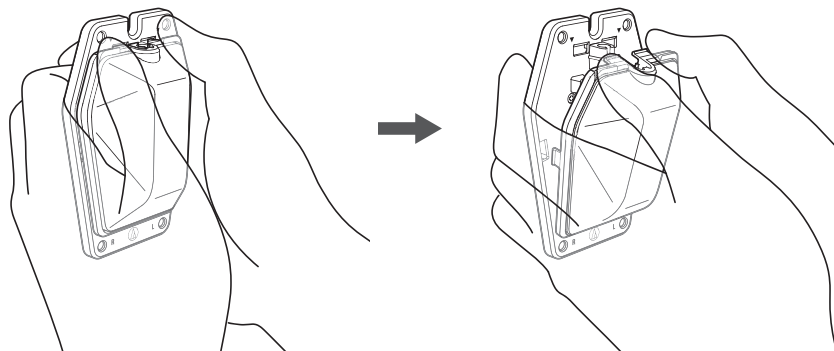
- 突起（2か所）に指を引っかけて、矢印の方向に取り外します。



組み立てかた

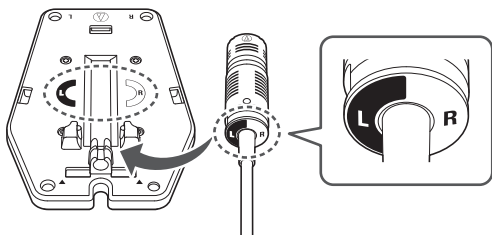
カバーが開けづらい場合

両手を使って開けてください。



2 マイクロホンとバウンダリーハウジングに取り付けます。

- マイクロホンとバウンダリーハウジングのLR表示を合わせます。



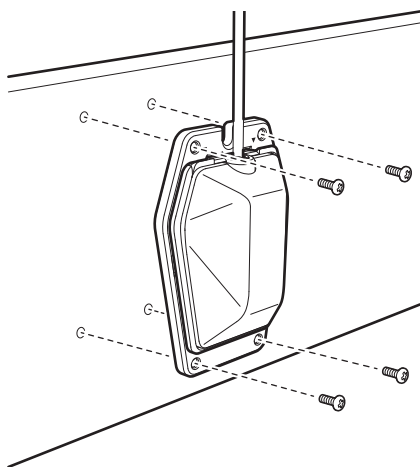
3 バウンダリーハウジングにカバーを取り付けます。

- カバーのツメをバウンダリーハウジングの溝に合わせたあと、矢印の方向に取り付けます。



4 壁などに取り付けます。

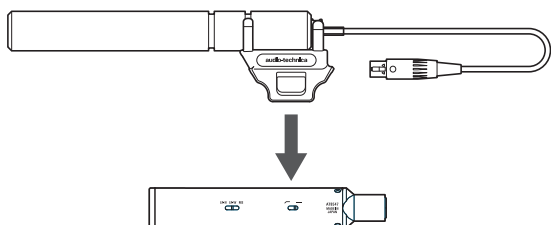
- バウンダリーハウジングの底面はマグネットになっており、金属面への設置ができます。
- バウンダリーハウジングには四隅にねじ留め用の孔があります。市販のねじを使用して、壁への固定ができます。



BP350ST-UL

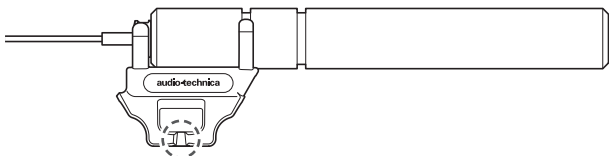
パワーモジュールに取り付ける

- 1 マイクロホンをパワーモジュール（AT8547）に取り付けます。



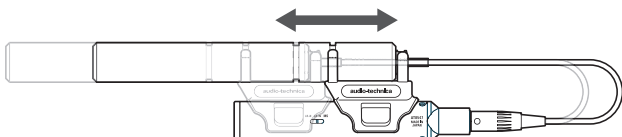
ケーブルホルダー

マイクホルダーにはケーブルホルダーがありますので、ケーブルを差し込んで固定する際にご使用ください。



マイクロホンをカメラに装着する場合

マイクロホンがカメラなどほかの機器に干渉する場合は、パワーモジュールへの装着位置を調整してください。





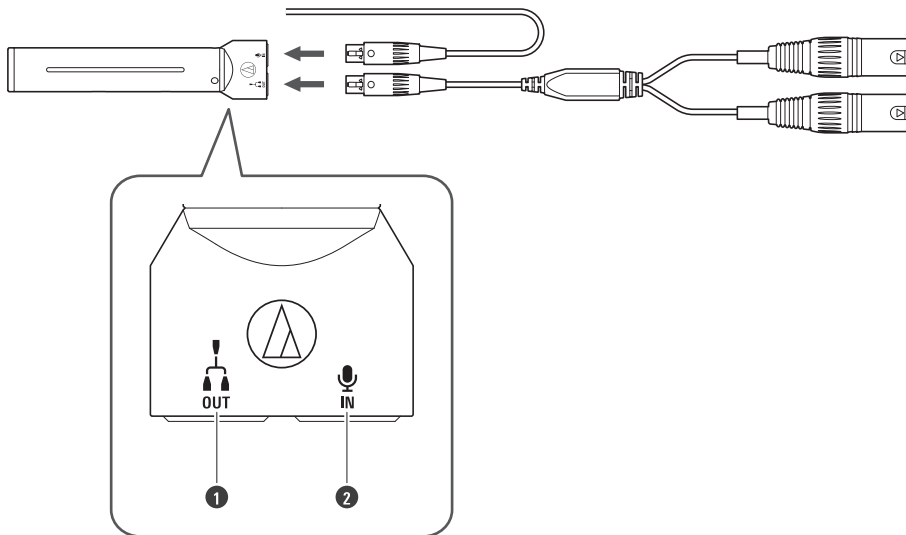
- パワーモジュールをカメラなどに取り付ける場合、カメラ側のマイクホルダーとパワーモジュールの間に隙間やぐらつきがあるときは、付属のOリングをスペーサーとして、パワーモジュールに取り付けてください。Oリングはパワーモジュールを固定する部位に2か所取り付けてください。

接続のしかた

パワーモジュールと接続する

1 パワーモジュールの入力・出力端子にそれぞれマイクロホンケーブルを接続します。

- パワーモジュールの「IN」・「OUT」の表示と、マイクロホンケーブルのプラグ部分のロック解除ボタンの位置を合わせて接続してください。



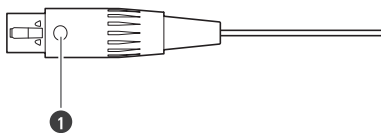
- ① OUT : 0.36mマイクロホンケーブルを接続します。
- ② IN : マイクロホン本体のケーブルを接続します。

2 マイクロホンケーブルの2つのXLRコネクターを、ファントム電源対応のマイク入力（バランス入力）のある機器（ミキサーやレコーダー）に接続します。

- 灰色端子がMid/Lチャンネル、赤色端子がSide/Rチャンネルです。
- 録音する前に、音声信号が出ていることを確認してください。

マイクロホンケーブルを取り外す


1 マイクロホンケーブルのプラグ部分にあるロック解除ボタンを押しながら、引き抜きます。

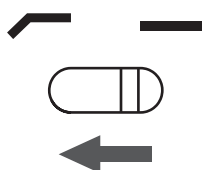


- ① ロック解除ボタン

ローカットフィルタースイッチの設定

パワーモジュールにはローカットフィルタースイッチが搭載されています。ローカットフィルタースイッチをONにすると、不要な低域の環境ノイズ（空調のノイズ、風雑音など）や部屋の反響音、機械の振動をできるだけ拾わないようにすることができます。

- 1 ローカットフィルタースイッチをON () にします。



モードの設定

ワイド／ナローのステレオ出力またはMS出力を選択でき、ポストプロダクションでの音像調整や定位設計に便利です。

モード	説明
MSダイレクトモード (MS)	MSモードでは、Mid および Side 信号がそのままマイクロホンから出力されるため、ポストプロダクションや現場でステレオイメージの幅をマトリックスミキサーにより調整できます。
ステレオモード (LR-W、LR-N)	ステレオモードでは、内蔵されたマトリックス回路によって、外部ミキサーなしでステレオを実現します。アンビエントを生かした収音が可能なLR-W（ワイド）とアンビエンスを抑えた収音が可能なLR-N（ナロー）を選択することができるため、さまざまな音響環境に対応できます。

- 1 モード切り替えスイッチをスライドして切り替えます。

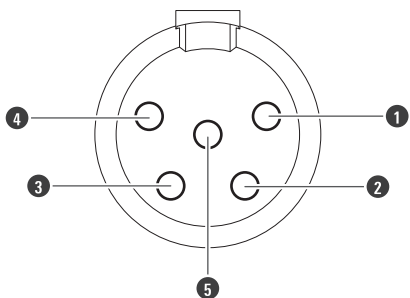


出力コネクタ

マイクロホン

出力コネクタは5ピンミニXLR-Fタイプであり、極性は図の通りです。

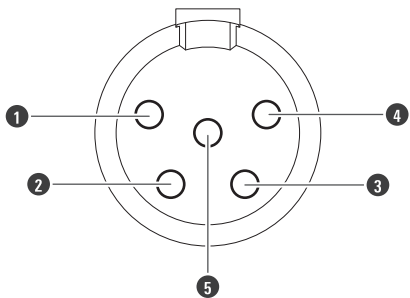
接続のしかた



- ① グランド
- ② Mid マイク出力
- ③ Mid DC入力
- ④ Side マイク出力
- ⑤ Side DC入力

パワーモジュール

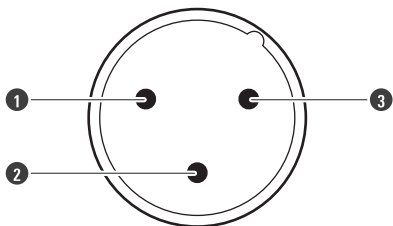
出力コネクタは5ピンミニXLR-Mタイプであり、極性は図の通りです。



- ① PIN1 (グランド)
- ② PIN2 (Mid/Lch ホット)
- ③ PIN3 (Mid/Lch コールド)
- ④ PIN4 (Side/Rch ホット)
- ⑤ PIN5 (Side/Rch コールド)

マイクロホンケーブル

2つの出力コネクタはXLR-Mコネクタであり、極性は図の通りです。



- ① PIN1 (グランド)

接続のしかた

- ② PIN2 (ホット)
- ③ PIN3 (コールド)

ケーブル接続図



お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

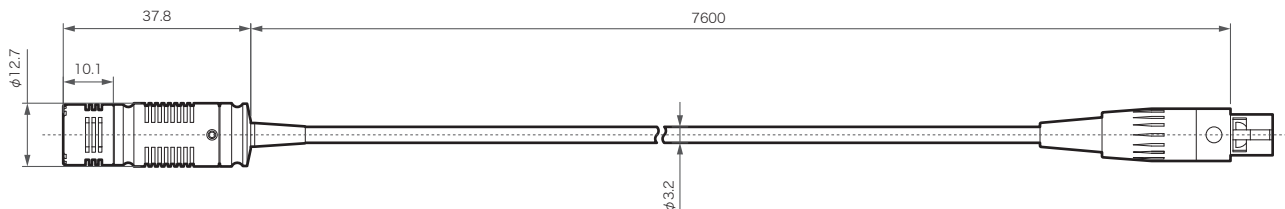
- 乾いた布で本製品の汚れを拭いてください。
- ケーブルが汗などで汚れた場合は、使用后すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、ケーブルが劣化して固くなり、故障の原因になります。



- 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。

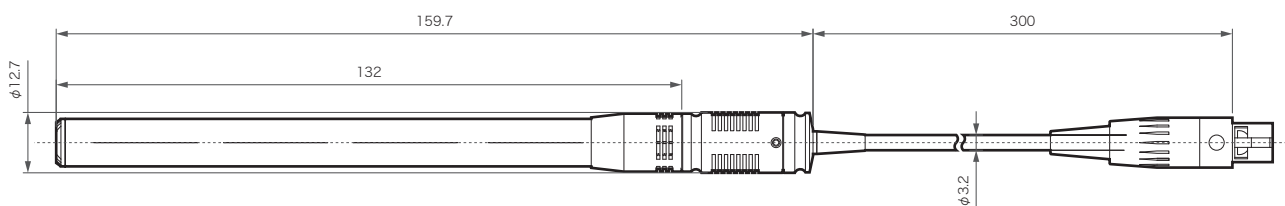
外形寸法図

BP350ST-UB



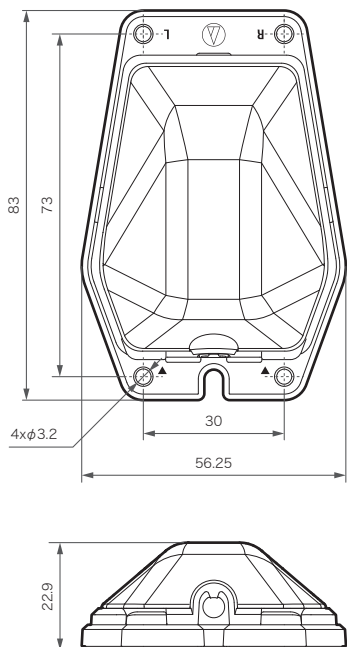
(単位 : mm)

BP350ST-UL



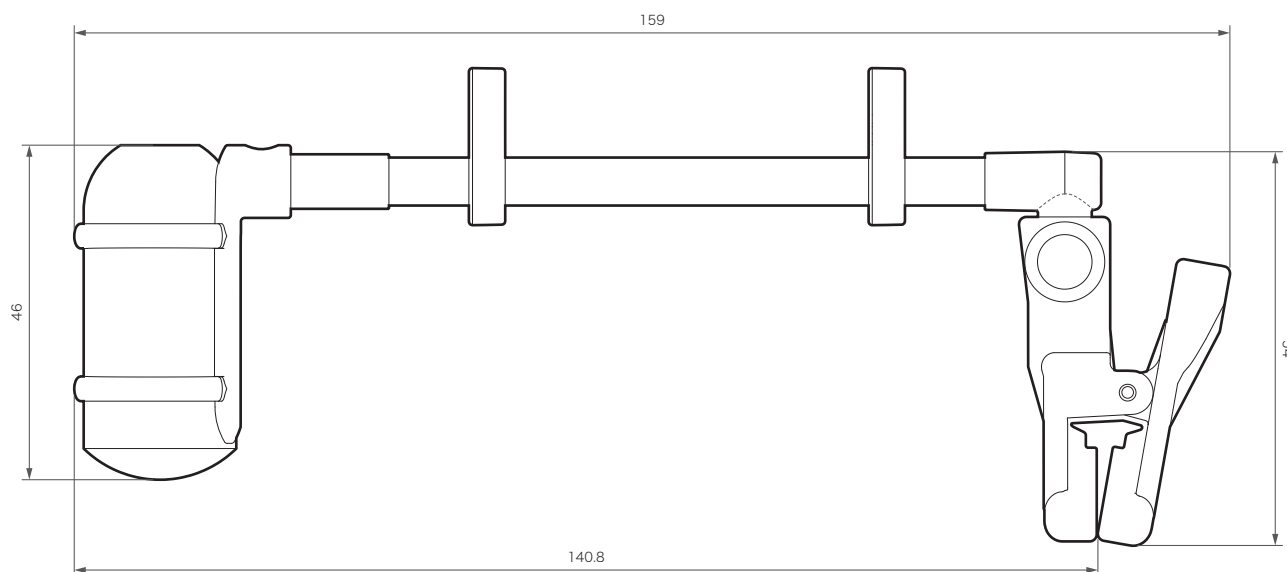
(単位 : mm)

バウンダリーハウジング (AT8494)



(単位 : mm)

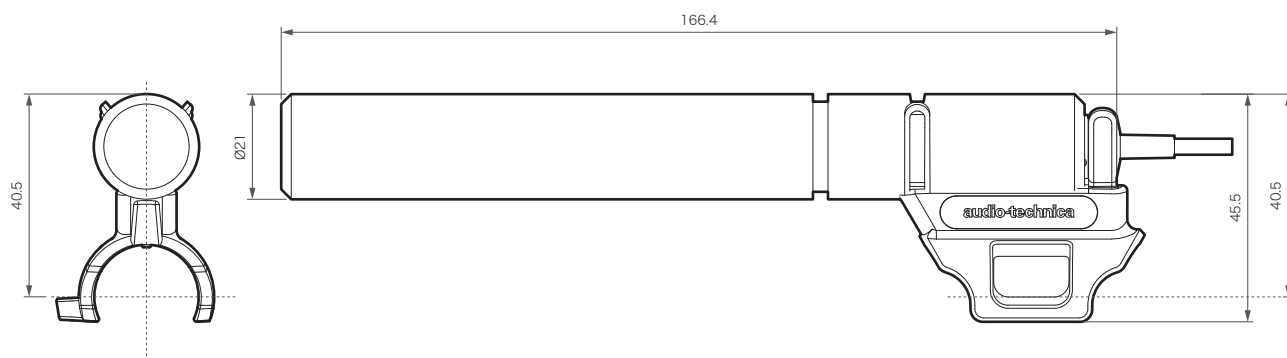
グースネック (スタンダード) (AT8490) とユニバーサルマウント (AT8491UC)



外形寸法図

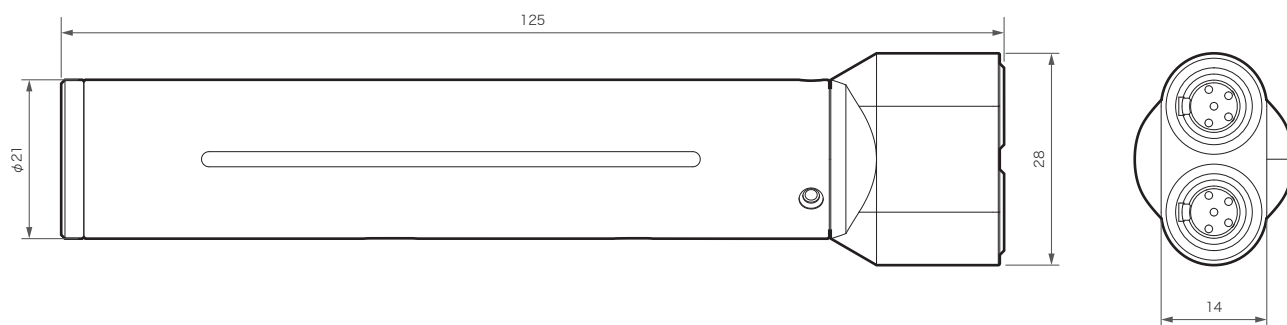
(単位 : mm)

ウインドスクリーン (AT8180) とマイクホルダー (AT8495)



(単位 : mm)

パワーモジュール (AT8547)



(単位 : mm)

テクニカルデータ

BP350ST-UB

型式	バックエレクトレットコンデンサー型
指向特性	カーディオイド、双指向性
周波数特性	40~20,000Hz
ローカット	80Hz、18dB/oct
感度	MID : -33.5dB (21.1mV) (0dB=1V/Pa、1kHz) SIDE : -35dB (17.8mV) (0dB=1V/Pa、1kHz) L/R : -39.5dB (10.6mV) (0dB=1V/Pa、1kHz)
出力インピーダンス	50Ω
最大入力音圧レベル	MID : 148dB SPL (1kHz THD1%) SIDE : 149.5dB SPL (1kHz THD1%)
ダイナミックレンジ	MID : 126dB (1kHz at Max SPL) SIDE : 125.5dB (1kHz at Max SPL)
SN比	MID : 72dB (1kHz at 1Pa、A特性) SIDE : 70dB (1kHz at 1Pa、A特性) L/R : 69dB (1kHz at 1Pa、A特性)
ファントム電源	48VDC、8.2mA (両チャンネル合計)
スイッチ ^[1]	ステレオモード切替 (MS、LR-W、LR-N)、フラット、ローカット
動作温度範囲	-10°C~60°C
保存温度範囲	-20°C~60°C、10%~90%RH (結露なきこと)
質量	マイクロホン部 : 17g パワーモジュール : 49g バウンダリーハウジング (AT8494) : 87g
寸法	マイクロホン部 : 長さ37.8mm、最大径12.7mm パワーモジュール : 長さ125mm、径21mm、最大幅28mm
ケーブル長	本体ケーブル : 7.6m マイクロホンケーブル (付属品) : 0.36m
出力コネクタ	パワーモジュール : 5ピンミニXLR-Mタイプ マイクロホン部 : 5ピンミニXLR-Fタイプ
オプション交換ユニット	UE-H ハイパーカーディオイド、UE-UJ 超指向性 ^[2]
付属品	パワーモジュール (AT8547)、バウンダリーハウジング (AT8494)、グースネック (スタンダード) (AT8490)、ユニバーサルマウント (AT8491UC)、0.36mマイクロホンケーブル、ハードケース

[1] パワーモジュール (AT8547) に搭載しています。

[2] ウィンドスクリーン (AT8180) も併せて交換が必要です。

- パワーモジュール (AT8547) に接続して測定した特性値です。
- 1 Pascal = 10 dynes/cm² = 10 microbars = 94 dB SPL
- 改良などのため予告なく変更することがあります。

BP350ST-UL

型式	バックエレクトレットコンデンサー型
指向特性	超指向性、双指向性
周波数特性	40~20,000Hz
ローカット	80Hz、18dB/oct
感度	MID : -29.5dB (33.5mV) (0dB=1V/Pa、1kHz) SIDE : -35dB (17.8mV) (0dB=1V/Pa、1kHz) L/R : -36dB (15.9mV) (0dB=1V/Pa、1kHz)
出力インピーダンス	50Ω
最大入力音圧レベル	MID : 144dB SPL (1kHz THD1%) SIDE : 149.5dB SPL (1kHz THD1%)
ダイナミックレンジ	MID : 126dB (1kHz at Max SPL) SIDE : 125.5dB (1kHz at Max SPL)
SN比	MID : 76dB (1kHz at 1Pa、A特性) SIDE : 70dB (1kHz at 1Pa、A特性) L/R : 72dB (1kHz at 1Pa、A特性)
ファントム電源	48VDC、8.2mA (両チャンネル合計)
スイッチ ^[1]	ステレオモード切替 (MS、LR-W、LR-N)、フラット、ローカット
動作温度範囲	-10°C~60°C
保存温度範囲	-20°C~60°C、10%~90%RH (結露なきこと)
質量	マイクロホン部 : 43g パワーモジュール : 49g
寸法	マイクロホン部 : 長さ : 159.7mm、最大径12.7mm パワーモジュール : 長さ125mm、径21mm、最大幅28mm
ケーブル長	本体ケーブル : 0.3m マイクロホンケーブル (付属品) : 0.36m
出力コネクタ	パワーモジュール : 5ピンミニXLR-Mタイプ マイクロホン部 : 5ピンミニXLR-Fタイプ
付属品	パワーモジュール (AT8547)、ウインドスクリーン (AT8180)、マイクロホルダー (AT8495)、Oリング×2、0.36mマイクロホンケーブル、ハードケース

[1] パワーモジュール (AT8547) に搭載しています。

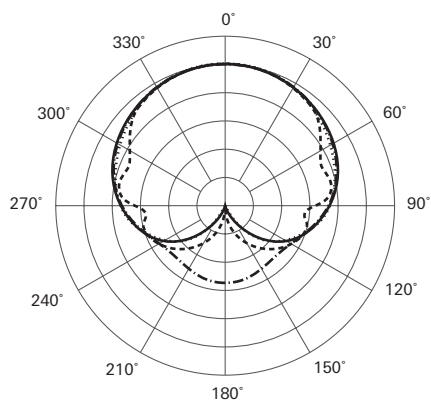
- パワーモジュール (AT8547) に接続して測定した特性値です。
- 1 Pascal = 10 dynes/cm² = 10 microbars = 94 dB SPL
- 改良などのため予告なく変更することがあります。

指向特性 / 周波数特性

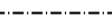


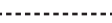
指向特性

BP350ST-UB

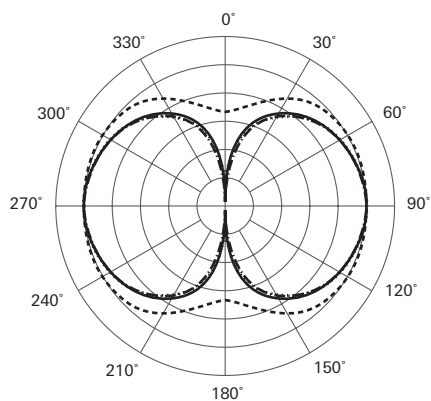
指向性 (MID)







凡例

	200 Hz	音圧スケールは1目盛5dB
	1 kHz	
	5 kHz	
	8 kHz	

指向性 (SIDE)

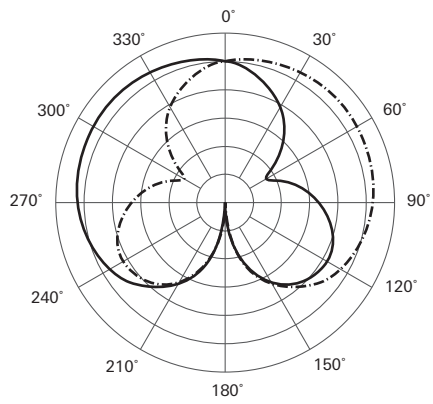


凡例



	200 Hz	音圧スケールは1目盛5dB
	1 kHz	
	5 kHz	
	8 kHz	

指向特性／周波数特性

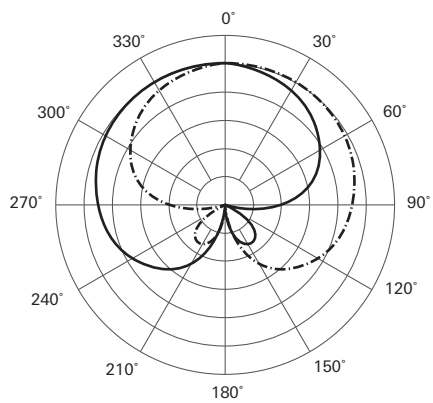
指向性 (LR-WIDE)





凡例

	Left 1 kHz	音圧スケールは1目盛5dB
	Right 1 kHz	

指向性 (LR-NARROW)

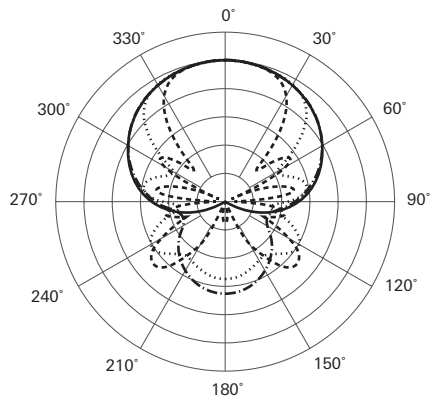


凡例

	Left 1 kHz	音圧スケールは1目盛5dB
	Right 1 kHz	

BP350ST-UL

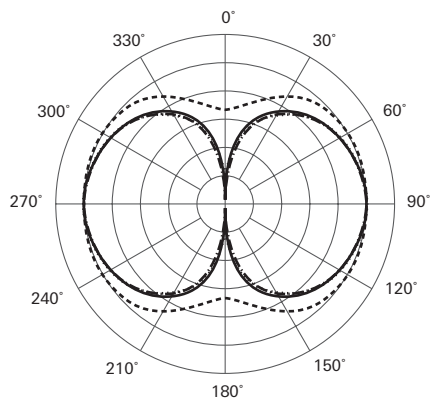
指向性 (MID)



凡例

-----	200 Hz	音圧スケールは1目盛5dB
————	1 kHz	
.....	5 kHz	
- · - · - ·	8 kHz	

指向性 (SIDE)

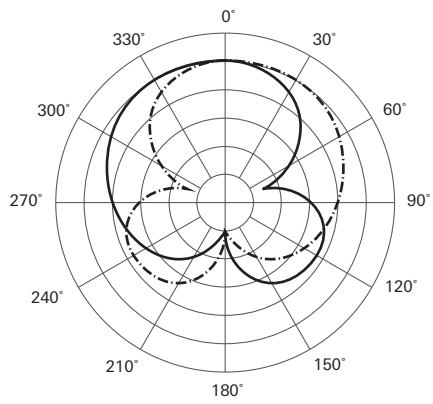


凡例

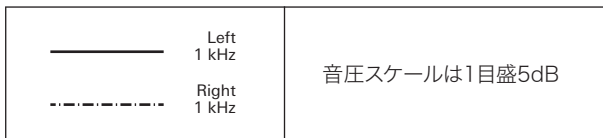
-----	200 Hz	音圧スケールは1目盛5dB
————	1 kHz	
.....	5 kHz	
- · - · - ·	8 kHz	

指向特性／周波数特性

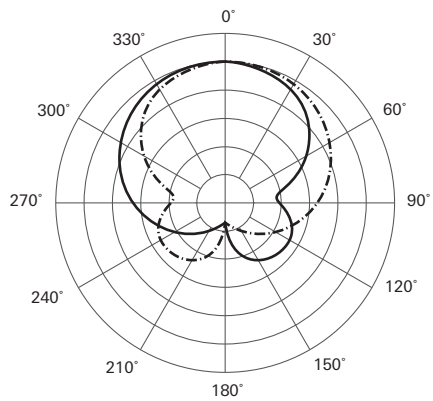
指向性 (LR-WIDE)



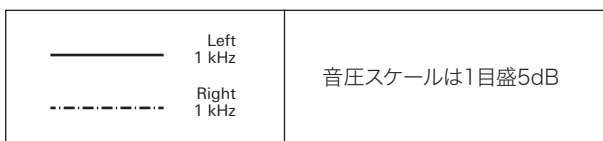
凡例



指向性 (LR-NARROW)

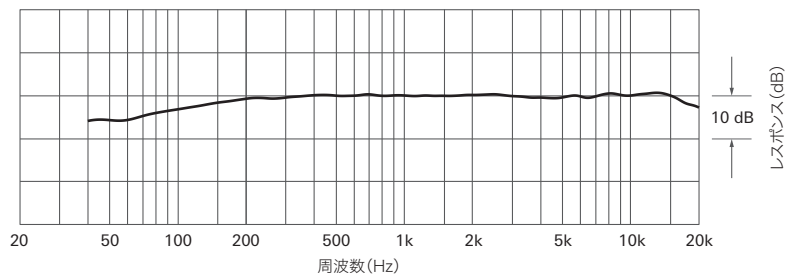


凡例

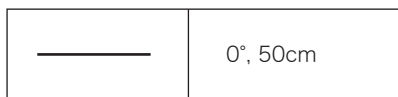


周波数特性

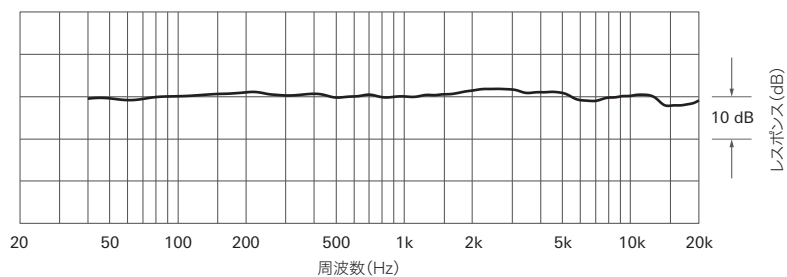
BP350ST-UB



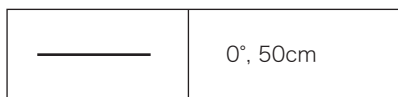
凡例



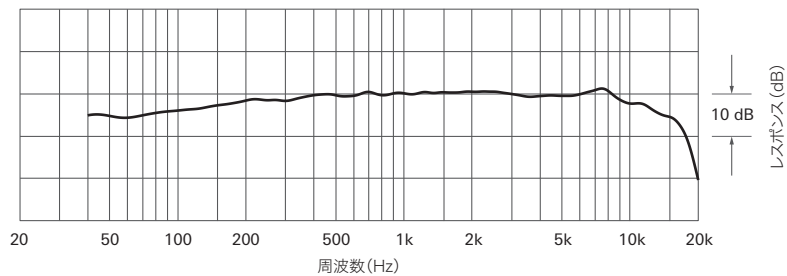
BP350ST-UL



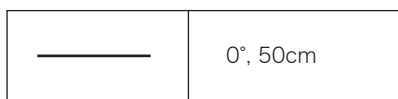
凡例



SIDE (BP350ST-UB、BP350ST-UL共通)



凡例



株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

Audio-Technica Corporation

2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2026 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact: www.at-globalsupport.com